

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日更新

事務事業名		道路占用・施行承認事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	都市建設部	課長名	岩男 竜彦
	施策	24	計画的な道路の整備			所属課	建設課	担当者名	松山 美咲
	施策の柱	67	道路環境の整備			所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目	会計一般	款8	項1	目1	事業連番10111	根拠法令	道路法	成果優先度評価結果	: ①
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	申請があったものを審査し許可書(承認書)を交付する道路法に基づき開始国が占用料の単価改正を行い、各々の単価が減額となり歳入減が見込まれる。
【業務の流れ】	相談、書類受付、許可書又は承認書の起案(交通規制を行う場合は警察へ協議後)、許可書の引渡し又は発送
【主な予算費目】	道路占用料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	占用料の賦課、徴収を行いました。許可書(承認書)交付しました。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		占用料の賦課、徴収事務許可書(承認書)交付
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 許可書交付数	件	
→ イ: 承認書交付数	件	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等申請者		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
		→ ア: 申請件数
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)申請者が工事等を行えるようになる		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
		→ ア: 許可・承認にもとづき施行を行った率
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 市道、里道、水路に個人で埋設物を埋設される際、適正な指導が求められる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア 件		360	261	300	267	330	330	330	330
	イ 件		50	57	40	52	40	40	45	45
② 対象指標	ア 件		360	261	330	267	330	330	330	330
	イ 件									
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円							
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	352	1,430	1,430	1,750	1,430	1,430	1,430		
(B)人件費計	千円	1,306	0	5,697	6,923	5,697	5,697	5,697		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,306	0	5,697	6,923	5,697	5,697	5,697		

事務事業名	道路占用・施行承認事務	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 道路管理者として行う必要がある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 法、市の基準に基づき許可・承認する	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在行っている事務は、必要最小限の事務である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在行っている事務は、必要最小限の事務である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市の条例に基づく負担。法に基づく許可・承認。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 法に基づき許可承認をしており、道路管理者として行うことは適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

何の問題もなくスムーズに処理できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						